

ZENSATO Monthly

全里マンスリー

2021年1月号 VOL133.

2021年1月12日(火)(公財)全国里親会

◆全国里親会(全里)の活動◆

会長より新年のご挨拶

新春を壽ぎ謹んでお慶び申し上げます

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、新年をお迎えのみなさまにおかれましてはご苦労が多いことと拝察いたします。

昨年は、公益財団法人全国里親会一大事業である全国里親大会の中止など大きな影響を受けました。一方、第2回全国里親制度研修講座や全国会長会議&研修会をオンライン&リアルハイブリッド形式で開催するなど、新しい取り組みにもチャレンジすることができました。

今年も、様々な課題山積ながら、みなさまと共に取り組んで前を向いて子どもたちの権利、最善の利益の実現と福祉の向上を目指して一歩ずつ進んでいきたいと、想いを新たにしております。本年もどうぞよろしく
お願い申し上げます。公益財団法人全国里親会



会長 河内美舟

令和3年1月1日~4年12月末日の新委員決定

全里各委員会の新委員が決まりました。統括委員長に河内会長、他は里親委託等推進委員会(委員長本多洋美)、業務運営委員会(委員長坪井ひとし)、広報委員会(委員長岩橋泉)となりました。詳細は「里親だより」次号でご紹介します。

令和2年度第7回理事会開催

第7回理事会(ハイブリッド方式)開催されました。

- 令和2年12月23日(水) 11時~12時半
- 会場 全里事務局ほか、各自オンラインにて
- 内容 衛生用品の配布等の報告、会長会議&研修、今年度事業計画と予算、日本財団助成申請事業「里親養育・里親相互相談ケア&エールワーク事業」等の審議を行いました。

第三者委員会、目的を達し解散

上記の第7回理事会にて、第三者委員会の解散が決まりました。同委員会は平成28年に内閣府からの勧告を受け設置され、各手続きの適正な処理、会計基盤の確立などの検証を行ってきました。その結果、平成30年の内閣府立ち入り検査で「適正」と評価され、当初の目的を達成したとして、任期満了を機に委員会から解散が提案されていました。

寄付・ありがとうございました

12月は、以下のご寄付をいただきました。
東京地区竹門会様:915,680円、河内美舟:100万円、

その他 15万6千円。大切にに使わせていただきます。

全里事務局へお越しの方へ

コロナ禍により現在、全国里親会事務局へお越しになる際は、事前にアポイントメントをお取りいただいております。なおフォスタリンググッズは、HPよりネット販売にて承っております。

◆厚労省・議連関連◆

厚労省「子どもの権利擁護」に関するヒアリング

12月4日(金)、厚労省による第4回「子どもの権利擁護に関するワーキングチーム」のヒアリングが行われました。全里事務局より岩橋泉理事が参加し、社会的養護の子どもたちについて話しました。

自民党議連と超党派の勉強会

自民党「児童の養護と未来を考える議員連盟」と超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」の12月の合同勉強会(リモート含む)は以下の通りでした。

- 12月9日(水) 衆議院第二議員会館
議題:「里親制度の概要と里親支援体制」厚労省
- 12月15日(火) 衆議院第一議員会館
議題:「中核市による児童相談所設置の成果と課題等」泉房穂(兵庫県明石市長)

◆奨学金・助成金◆

ENEOS奨学助成(旧・JXTG奨学助成)

ENEOSグループが行う奨学助成です。今年度より名称が変更しています。

- ・内容 一人10万円 ・返済義務なし ・他奨学金との併用可能 ・対象 令和3年に大学、短大、専門学校に進学予定の里親家庭の委託児童等(委託解除後も里親と同居している20歳未満の方も可)
- ・締切 令和3年2月12日(郵送のみ、消印有効)
- ・問合せ&申請先 公益財団法人全国里親会
〒107-0052 東京都港区赤坂9-1-7-857
<https://www.zensato.or.jp/satooya>

◆その他◆

第7回日本フォスターケア研究大会開催

家庭養護の充実、子ども最善の利益の実現を目指して里親養育や里親支援について検討する大会です。今回は以下の通り行われました。参加人数221名。

- 日程:12月19日(土)13時~ オンライン開催
※コロナ禍により当初、予定していたオリンピック記念青少年センター(東京)での開催は中止。
- 基調講演 白井千晶(静岡大学人文社会科学部教授)
「誰もが活躍する社会と里親制度~共働き里親家庭を応援するために」、他はパネルディスカッション、分科会(里親養育実践発表、ユース意見発表等)。